

鷄肉情勢

2025/5/12 更新

全農チキンフーズ(株)

項目

1. 国内

2. 輸入

1. 家計消費

2. 量販・卸

3. 業務・加工筋

1. 令和7年3月

2. 見通し

1. 令和7年4月動向

2. 見通し

内容

(1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和7年4月末実施)によると、3月の推計実績は処理羽数66,856千羽(前年比103.6%)、処理重量201.5千ト(同102.5%)となった。処理羽数は前月時点の計画値から1.4%の上方修正となった。要因としては「産地からの報告では2月から3月にかけては寒さの影響による増体不良で全体的に苦戦しているという声が多かった。」ものの、「気温が上がるにつれて成績が回復してきたとのことで、特に3月後半は育成がかなり順調に進んだことから前月時点での予測を上回る結果になった」とのこと。

(2) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和7年4月末実施)によると、4月は前月時点の予測よりも処理羽数が1.4%上方修正、処理重量は0.5%上方修正の見通しである。処理羽数は前年増の一方、処理重量は前年割れの予測であることから、大腸菌症や脚弱は減少するものの、増体は冬場の影響が完全には抜けていないようだ。5月は処理羽数、処理重量ともに前月予測から上方修正され、処理羽数は前年同月比3.4%増、処理重量は同0.2%減の見込みとなっている。6月は処理羽数前年同月比1.6%増、処理重量は同2.2%減の予測。工場の人員不足については外国人技能実習生が都市部への就業に集中しており働き手の足りない産地が多いとのこと。また、従業員の高齢化もあり人員確保が難しくなっているとの声も聞かれる。副産品(小肉・剣状軟骨など)や機械で加工することが難しい手羽中半割といった加工品の調整を行っている産地もあり、この傾向は暫く続く見通しだ。

(1) 財務省の貿易統計によると、令和7年3月の鶏肉(原料肉)の輸入量は前月から▲5.4千トの42.3千ト、国別ではブラジルが前月▲5.1千トの26.3千ト、タイが+0.1千トの15.6千トとなった。(独)農畜産業振興機構(ALIC)によると今後の見通しでは、輸入量は4月が45.1千ト(前年比86.7%)、5月は45.1千ト(同84.7%)と減少していく予測である。要因としては「4月、5月ともにブラジル産地価格が高止まりしていることなどを受けて、輸入量の減少が見込まれること等から、前年同月をかなり大きく下回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなり大きく下回ると予測する。」とのこと。

(2) 鶏肉調整品の輸入量は前月から+9.7千トの43.5千ト、前年同月実績(38.3千ト)からも+5.2千ト上回る結果となった。国別では中国が+6.2千トの16.7千ト、タイが+3.3千トの26.0千トとなった。国内の働き手不足やコロナ禍が明けた影響による外食筋の回復、共働き世帯の増加に伴い中食・総菜向け等の引き合いも継続している。

(3) ㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、3月の輸入鶏肉(モモ肉)の価格はブラジル産で450円/kgから480円/kg(前年加重価格390円/kg)、タイ産が480円/kg(同400円/kg)となっている。概況としては「輸入品はコンスタントに動いているが、実需というよりは引続き入荷が少ないことを見越して在庫を確保しようとする動きが多い。例年3月は決算期で安い案内も聞かれるが、こしは在庫が薄く浮遊玉はみられない。相場も上げ基調となり、この先のブラジルの船積み数量によってはさらに一段上げてくる可能性もある。」とのこと。

(1) 総務省統計局発表の家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)によると、令和7年3月の生鮮肉消費(購入)は数量4,366g(前年比100%)、金額6,835円(同100.4%)と、数量・金額ともに前年並みとなった。鶏肉は数量1,650g(同102.2%)・金額1,719円(同104.2%)・単価104.2円/100g(前年同月+2円)と、数量・金額・単価ともに前年を上回った。また、牛肉は数量・金額ともに前年を下回る結果となった。公益財団法人日本食肉流通センターによると、2021年後半から、物価の上昇による消費者の生活防衛意識の高まりにより牛肉の消費量は年々低下傾向とのこと。豚肉も前月に引き続き為替による高値基調によって需要家からの積極的な引き合いが乏しくなった。調理食品は共働き世帯の増加に伴う需要は底堅いようだ。外食においては、ほぼコロナ禍前の水準程度まで回復したものの、統計外となるインバウンドによる集客もあることからエリア・業態によって濃淡があるようだ。

(1) 一般社団法人全国スーパーマーケット協会の販売統計調査によると、令和7年3月の食品売上高は全店ベースで前年比105.1%と前年を上回り、生鮮3部門の売上高は全店ベースで同104.4%、既存店ベースは同103.2%。畜産部門の売上高は約1,236億円で全店ベース同102.3%、既存店ベース同101.0%となった。また同社が取りまとめたスーパーマーケット景気動向調査によると、「引き続き全般的に相場高が継続し、部門としての伸び悩みと豚肉・鶏肉への需要シフトが続いた。牛肉は引き続き、価格が抑えられる切り落としや小間切れなどが販売の中心となっており、週末も売上が伸びないとのコメントも。豚肉は国産豚の価格上昇もあり輸入豚や味付肉が好調となった。鶏肉は堅調に推移するも、価格に上昇傾向がみられ、伸び悩んだ店舗も。ハム・ソーセージなどの加工肉は、好不調の判断がわかれた。」とのこと。

(1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによると令和7年3月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比99.2%の4.5千トとなった。うち国内品は同99.8%の3.7千ト、輸入品については同96.2%の0.7千トとどちらも前年を下回った。

(1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)の3月末時点推定期末在庫では国産25.8千ト(前年比69.9%)、輸入品131.2千ト(同101.7%)と合計で157.0千ト(同94.6%)となった。

(1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)が発表した鶏肉需給表では、3月の出回り量は国産146.5千ト(前年比103.3%・前月差+9.2千ト)、輸入品50.3千ト(同105.4%・同+2.6千ト)の合計196.7千ト(同103.8%・同+11.9千ト)となり、前年からは国産・輸入ともに出回り量は増加した。3月以降の生産量については直近3カ月平均(3～5月)では前年並みの予測。輸入量はブラジル産の価格が高止まりしていることから減少する見込み。このことから、期末在庫の部分では直近3カ月平均(3～5月)で減少することが予測される。

(1) 令和7年4月の月平均相場は、モモ肉799円/kg(前月差+59円)・ムネ肉444円/kg(同+52円)正肉合計で1,243円/2kgと前月比+111円、前年同月比+248円となった。㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、「国産生鮮モモ肉の相場は810円台(日経加重平均、以下同)と、この時期にしては異例の高値となっている。」「この異例の展開に業界内でも先行き不透明感が強まっており、各社ゴールデンウィーク明けまでは様子見の姿勢にある」とのことであった。

(1) 5月の生産量は生産・処理動向調査によると入雛羽数・処理羽数、処理重量とも前年並みに推移する見込みとなっている。量販店では相場高による牛肉→豚肉→鶏肉のシフトが続いており、これは消費者の節約志向の高まりだと考える。コメ・野菜の価格が上昇していることから、さらに消費者の生活防衛意識が高まり安価な商品へ需要が集中すると考える。このことから5月のモモ肉相場は月平均840円、ムネ肉相場は月平均485円と予測する。

(2) 5月中旬現時点では養鶏場・家さん農場における高病原性鳥インフルエンザは51例発生している。肉用鶏(肉用あひる含む)は10例(66.6万羽)、採卵鶏(ウズラ含む)は41例(867.9万羽)発生。しかし、2月1日に51例目が確認されて以降は発生していない。

実績

生産状況

	単位:千羽、千トン、%									
	R6年累計(推計)		R7年3月実績		R7年4月計画		R7年5月計画		R7年6月計画	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雛羽数	791,537	101.1%	64,849	100.4%	66,711	100.4%	66,209	100.9%	64,255	106.5%
処理羽数	750,759	100.9%	66,856	103.6%	65,511	102.3%	67,160	103.4%	61,713	101.6%
処理重量	2,273.2	101.5%	201.5	102.5%	195.5	99.2%	197.3	99.8%	182.6	97.8%

※参考資料:㈱全国食鳥新聞社発行「PMN」

輸入動向

品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
R5年累計	584.9	574.5	101.8	478.0	525.8	90.9	1,062.9	1,100.3	96.6	55.0	45.0
R6年累計	639.2	584.9	109.3	503.2	478.0	105.3	1,142.4	1,062.9	107.5	56.0	44.0
R6年11月	52.0	39.2	132.6	46.2	46.6	99.1	98.2	85.8	114.4	52.9	47.1
R6年12月	49.9	51.0	97.9	45.6	44.3	102.9	95.5	95.3	100.3	52.3	47.7
R7年1月	52.3	54.7	95.6	38.6	35.7	108.2	90.9	90.4	100.6	57.5	42.5
R7年2月	47.7	55.4	86.1	33.8	34.3	98.4	81.5	89.7	90.8	58.5	41.5
R7年3月	42.3	52.7	80.3	43.5	38.3	113.6	85.8	91.0	94.3	49.3	50.7

※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」

鶏肉の消費動向

履歴	数量			金額		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R5年平均	1,495	1,510	99.0	1,547	1,448	106.8
R6年平均	1,552	1,495	103.8	1,586	1,547	102.5
R6年11月	1,584	1,502	105.5	1,595	1,587	100.5
R6年12月	1,586	1,508	105.2	1,629	1,569	103.8
R7年1月	1,801	1,885	95.5	1,993	1,950	102.2
R7年2月	1,563	1,501	104.1	1,650	1,608	102.6
R7年3月	1,650	1,614	102.2	1,719	1,650	104.2

※参考資料:総務省統計局HP「家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)」

在庫状況(推定)

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R6年11月	30.8	30.9	99.7	139.3	120.0	116.1	170.1	150.8	112.8
R6年12月	29.6	33.6	88.1	134.9	115.7	116.7	164.5	149.2	110.2
R7年1月	26.3	31.2	84.3	139.2	125.9	110.5	165.4	157.0	105.3
R7年2月	25.7	34.9	73.8	139.2	124.1	112.1	164.9	159.0	103.7
R7年3月	25.8	36.9	69.9	131.2	129.1	101.7	157.0	166.0	94.6

※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」

出回り量(推定)

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R5年累計	1,689.0	1,683.1	100.4	606.3	563.3	107.6	2,295.4	2,246.5	102.2
R6年累計	1,721.2	1,689.0	101.9	619.9	606.3	102.2	2,341.1	2,295.4	102.0
R6年11月	145.7	145.7	100.0	53.8	50.1	107.2	199.4	195.8	101.8
R6年12月	155.6	152.7	101.9	54.3	55.3	98.3	209.9	208.0	100.9
R7年1月	142.4	142.5	99.9	48.1	44.5	108.1	190.5	187.0	101.9
R7年2月	137.2	140.8	97.4	47.6	57.1	83.4	184.9	198.0	93.4
R7年3月	146.5	141.8	103.3	50.3	47.7	105.4	196.7	189.5	103.8

※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」

相場(月別)

品名	モモ肉			ムネ肉			正肉合計		
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R5年度平均	700	702	99.7	384	371	103.5	1,084	1,073	101.0
R5年平均	730	662	110.3	395	348	113.5	1,125	1,010	111.4
R6年平均	655	730	89.7	369	395	93.4	1,024	1,125	91.0
R7年1月	745	701	106.3	403	377	106.9	1,148	1,078	106.5
R7年2月	744	682	109.1	394	369	106.8	1,138	1,051	108.3
R7年3月	740	661	112.0	392	364	107.7	1,132	1,025	110.4
R7年4月	799	639	125.0	444	356	124.7	1,243	995	124.9
R7年5月	(840)	631	133.1	(485)	354	137.0	(1,325)	985	134.5
R7年6月	(830)	619	134.1	(485)	354	137.0	(1,315)	973	135.1

※()は見通し